



平成 24 年入会（検定職）

○穀検を知ったきっかけは？なぜ志望しましたか？

知人からの紹介です。当初は穀検の仕事を何も知らなかったのですが、米や麦の調理研究の仕事なのかと勘違いしていました。

○仕事内容を教えてください。

入会当初は、輸入小麦の検査・検量立ち合いや輸入雑穀（胡麻、コーヒー、小豆等）の検量（パレット貫）が主でした。

現在は、輸入米穀・小麦の検査検量の立ち合いや雑穀検量に加え、証明書類の発行や諸問題発生時に関係者同士で話し合いなど、より深く立ち入った仕事をするようになりました。自分のことを関係先に覚えてもらえるようにもなり、積み重ねてきた経験を感じます。

○身につけたスキルや資格はありますか？

仕事をする上で必須となる検量人や外国産農産物検査員の資格はもちろん、関係他社の担当者とのコミュニケーション能力も身に付けることができました。

○職場の雰囲気や、現場での外部の方との関わりについてはどうですか？

相手先との円滑なコミュニケーションが仕事をする上で不可欠なため、挨拶を始めとしてよく話すようにしています。職場にしても同じで、雰囲気は良好です。

○仕事の中で心掛けていることはありますか？

その日一緒に行動する職員や相手先との連絡を密にすることを第一に心掛けています。また、新人の時には一日にひとつでいいから新しいことを覚える、または出来るようになることを心掛けていました。

○これから応募される方へのメッセージをお願いします。

普段何気なく口にしている食品の原料がどのような形で輸入されるのか、そしてその輸入された原料がどのような検査等を経て国内で流通できるようになるかを見ることが出来る面白い仕事です。穀検で待っています。



平成 24 年入会（検定職）

○穀検を知ったきっかけは？なぜ志望しましたか？

再就職での就職支援サービスを受けていた際に紹介があり、穀検を知りました。前職(機械保全等)とは全く違う業種でしたが、仕事の内容に興味があったため、志望しました。

○仕事内容を教えてください。

入会当初は、現場事務所の所属ということで、飼料工場に赴き単体・配合飼料の飼料証明や、輸入雑穀主原料の検量補佐が主でした。

現在も現場事務所所属のため、輸入雑穀検定・外国産農産物検査を主とし、飼料証明及び政府所有米穀確認業務等に務めています。

○身につけたスキルや資格はありますか？

外部の方とのコミュニケーションの取り方を身に付けました。外国産農産物検査員の資格、酸素欠乏危険作業主任者の資格を取得しました。

○職場の雰囲気や、現場での外部の方との関わりについてはどうですか？

上司や先輩にも気軽に意見を交わすことができます。外部の方とも頻繁にやりとりがあるため、交流が多いです。

○仕事の中で心掛けていることはありますか？

分からない事を分からないままにしないこと。調べて分かる事は調べ、そうでなければ知っている人に聞くことです。書類のミスが起きないように、チェックには細心の注意を払っています。

○これから応募される方へのメッセージをお願いします。

全く違う業種から入ってきた自分が 10 年続けられたので、この業界に対して知識がある人はもちろん、そうでない人でも遠慮はいらないと思います。